

平成23年度以降も競争性のない随意契約とならざるを得ないもの(第3四半期)

(独立行政法人名： 農業・食品産業技術総合研究機構)

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	随意契約によらざるを得ない事由	随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分	備考
低圧液体クロマトシステム	畜産草地研究所長 松本光人 (茨城県つくば市池の台2)	平成22年10月1日	中山商事(株)筑波営業所 (茨城県つくば市鬼ヶ窪1139-1)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	2,574,600	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
複数行程直線作業システムの開発	生物系特定産業技術研究支援センター所長 前川泰一郎 (埼玉県さいたま市北区日進町1-40-2)	平成22年10月4日	井関農機(株) (愛媛県伊予郡砥部町八倉1)	会計規程第38条第1号	—	2,421,300	—	0	当該装置の基本部分に共同出願特許を利用しており、共同研究相手先である左記相手方しか対応することができず、競争を許さないため。	19	
平成22年度「害虫の光応答メカニズムの解明と高度利用技術の開発」委託研究	野菜茶業研究所長 望月龍也 (三重県津市安濃町草生360)	平成22年10月6日	積水樹脂(株) (大阪市北区西天満2-4-4)	会計規程第38条第1号	—	1,795,831	—	0	共同研究グループ内の契約なので形式上随意契約に整理されるが、実際は再委託先も含めた共同研究グループ全体が企画競争による申請を行い外部有識者等で構成される審査会による審査の上で委託契約が行われており、実質的には競争性・透明性を確保している。	19	
蒸気土壌消毒機	東北農業研究センター所長 岡三徳 (岩手県盛岡市下厨川字赤平4)	平成22年10月7日	(株)キセキ東北盛岡営業所 (岩手県盛岡市東仙北2-15-23)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	3,307,500	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
Science Direct電子ジャーナルの利用	農業・食品産業技術総合研究機構統括部長 西山明彦 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年10月21日	エルゼビア・ビー・ブイ (オランダ王国アムステルダム市ラーダーヴェヒ29)	会計規程第38条第1号	—	42,621,623	—	0	出版元が直接販売をしており、代理店を介さないため、競争を許さないため。	19	
白灯油(単価契約)	東北農業研究センター所長 岡三徳 (岩手県盛岡市下厨川字赤平4)	平成22年10月27日	大栄商事(株) (岩手県花巻市下似内第17地割80-2)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	7,973,574	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
A重油(単価契約)	東北農業研究センター所長 岡三徳 (岩手県盛岡市下厨川字赤平4)	平成22年10月27日	三田商店(株) (岩手県盛岡市中央通1-1-23)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	5,187,420	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
平成22年度科学技術総合研究委託事業「口蹄疫対策に資する緊急研究(口蹄疫早期発見のための体制強化)」委託研究	動物衛生研究所長 濱岡隆文 (茨城県つくば市観音台3-1-5)	平成22年10月29日	国立大学法人岐阜大学 (岐阜県岐阜市柳戸1-1)	会計規程第38条第1号	—	6,487,728	—	0	共同研究グループ内の契約なので形式上随意契約に整理されるが、実際は再委託先も含めた共同研究グループ全体が企画競争による申請を行い外部有識者等で構成される審査会による審査の上で委託契約が行われており、実質的には競争性・透明性を確保している。	19	

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	随意契約によらざるを得ない事由	随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分	備考
平成22年度科学技術総合研究委託事業「口蹄疫対策に資する緊急研究(口蹄疫早期発見のための体制強化)」委託研究	動物衛生研究所長 濱岡隆文 (茨城県つくば市観音台3-1-5)	平成22年10月29日	栄研化学(株) (東京都台東区台東4-19-9)	会計規程第38条第1号	-	2,596,152	-	0	共同研究グループ内の契約なので形式上随意契約に整理されるが、実際は再委託先も含めた共同研究グループ全体が企画競争による申請を行い外部有識者等で構成される審査会による審査の上で委託契約が行われており、実質的には競争性・透明性を確保している。	19	
トラクター	九州沖縄農業研究センター所長 井邊時雄 (熊本県合志市須屋2421)	平成22年11月2日	(合)坂田機械産業 (熊本県熊本市本荘町716)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	-	4,189,500	-	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
日本版エコロジカスケアシテ手法作成業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月4日	イーエスユーザーサービス(有) (スイス連邦ウイスター8610カンツライ通り4)	会計規程第38条第1号	-	3,710,002	-	0	当該業務のモデルデータとなる「エコロジカスケアシテ手法」の著作権を左記相手方が有しており、競争を許さないため。	19	
リアルタイムPCRシステム	果樹研究所長 長谷川美典 (茨城県つくば市藤本2-1)	平成22年11月5日	理科研(株)つくば営業所 (茨城県つくば市高野台3-16-2)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	-	4,384,800	-	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
乗用スイーパー	果樹研究所ブドウ・カキ研究安芸津拠点研究管理監 中野正明 (広島県東広島市安芸津町三津301-2)	平成22年11月5日	(株)興洋 (広島県広島市南区出島2-13-18)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	-	2,037,000	-	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
バイオ燃料製造とバイオマス利用に関するトータルコストアセスメント(TCA)の手順書作成及び事例分析作成業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月16日	アースシフト(有) (アメリカ合衆国ヴァーモント州ハンティントンタフト通り830)	会計規程第38条第1号	-	3,000,110	-	0	当該業務の基となるソフトウェアの販売元であり、豊富なデータを有している左記相手方しか対応することができず、競争を許さないため。	19	
平成22年度委託(レギュラトリー)「我が国における家畜伝染性疾患のサーベイランスに関する研究」委託研究	動物衛生研究所長 濱岡隆文 (茨城県つくば市観音台3-1-5)	平成22年11月18日	国立大学法人東京大学 (東京都文京区本郷7-3-1)	会計規程第38条第1号	-	1,492,950	-	0	共同研究グループ内の契約なので形式上随意契約に整理されるが、実際は再委託先も含めた共同研究グループ全体が企画競争による申請を行い外部有識者等で構成される審査会による審査の上で委託契約が行われており、実質的には競争性・透明性を確保している。	19	
外国雑誌(シュプリングー電子ジャーナル)	農業・食品産業技術総合研究機構統括部長 西山明彦 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月24日	丸善(株)筑波営業部 (茨城県つくば市天久保3-9-1)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	-	27,751,500	-	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	随意契約によらざるを得ない事由	随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分	備考
トラクター改造業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月24日	(株)大成工機 (茨城県つくば市大字苅間1561-3)	会計規程第38条第1号	—	3,448,620	—	0	これまでに開発した農業用機械(田植えロボット及び無人作業コンバイン)との通信制御インターフェース「CANバス」を採用した「互換性、運動制の確保」及び本来の性能、操作性、メンテナンスを損なわない「卓越した技術力(改造力)」が必要条件となるため、改造実績がある左記相手方しか対応することが出来ず、競争を許さないため。	19	
H22電子ジャーナル	食品総合研究所長 林徹 (茨城県つくば市観音台2-1-12)	平成22年11月24日	(社)化学情報協会 (東京都文京区本駒込6-25-4)	会計規程第38条第1号	—	4,485,600	—	0	外国雑誌の電子ジャーナルであり出版元の指定する代理店のみとの契約となり、競争を許さないため。	19	
育成牛舎外尿槽汚泥浚渫及び運搬処分業務	近畿中国四国農業研究センター大田研究拠点研究管理監 篠田満 (島根県大田市市川合町吉永60)	平成22年11月24日	(有)文化環境技術センター (島根県大田市市長久町長久口178-3)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	2,068,500	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
エネルギー作物のLCAのための土地利用の影響評価手法作成業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月26日	シュツットガルト大学 (ドイツ連邦共和国ラインフェルデン・エヒターディングン市中央通り113)	会計規程第38条第1号	—	3,848,120	—	0	当該業務の基となるソフトウェアの著作権を有している左記相手方しか対応することができず、競争を許さないため。	19	
バイオマス利用戦略策定のためのシナリオ作成に基づく影響評価手順作成業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年11月26日	スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (スイス連邦チューリッヒ市大学通り22)	会計規程第38条第1号	—	3,010,045	—	0	当該業務の基となるLCAに関する数多くの方法論及び豊富なデータを有している左記相手方しか対応することができず、競争を許さないため。	19	
作業環境測定業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年12月1日	(株)三菱化学アナリテック (茨城県稲敷郡阿見町中央8-5-1)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	1,207,500	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
動物衛生研究所東北支所水銀汚染土壌処理水銀不溶化実験業務	動物衛生研究所長 濱岡隆文 (茨城県つくば市観音台3-1-5)	平成22年12月8日	(株)大東環境科学 (岩手県盛岡市津志田西1-2-23)	会計規程第38条第3号	—	1,995,000	—	0	本業務は、汚染土壌浄化計画立案のための不溶化実験業務である。不溶化実験には、汚染土壌の概況調査、表層土壌の汚染調査により得た採取資料及び調査データが必要となり、左記業者は一般競争を経て汚染調査を実施した業者であり、仮に他者と契約した場合、採取資料及び調査データを有さないことから、再度汚染土壌の概況調査、表層土壌の汚染調査を行う必要があるが、再度調査を行うことなく本業務を実施可能であり、短期間かつ経済的に有利な条件で契約できると認められるため。	19	
GS-FLXシーケンス試薬	野菜茶業研究所長 望月龍也 (三重県津市安濃町草生360)	平成22年12月9日	(株)カーク (愛知県名古屋市中区丸の内3-8-5)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	2,562,000	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	随意契約によらざるを得ない事由	随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分	備考
燃料製造装置(高温・高圧部)改造業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年12月13日	(株)エイティーワン (東京都中央区日本橋小網町10-7)	会計規程第38条第1号	—	7,200,000	—	0	当該装置に必要なとする特許技術(STING法による小型可搬型燃料製造装置)に対する特許利用許諾を受けて、製造・販売している左記相手方しか対応することができず、競争を許さないため。	19	
試薬(ph標準液)ほか	畜産草地研究所長 松本光人 (茨城県つくば市池の台2)	平成22年12月14日	岩井化学薬品(株) (東京都中央区日本橋本町3-2-10)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	1,640,100	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
小麦品質評価	近畿中国四国農業研究センター所長 長峰司 (広島県福山市西深津町6-12-1)	平成22年12月17日	日清製粉(株)岡山工場 (岡山県岡山市北区下石井1-3-16)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	1,416,450	—	0	競争入札に付したが応札者がなかったため。	16	
農業のライフサイクルインベントリデータ作成業務	中央農業総合研究センター所長 佐々木昭博 (茨城県つくば市観音台3-1-1)	平成22年12月20日	エンバイロメンタルクリティイ(同) (アメリカ合衆国ヴァージニア州グレンアランスイートAヒッコリーパークドライブ5230)	会計規程第38条第1号	—	5,020,310	—	0	国内には当該業務を行っている機関がなく、競争を許さないため。	19	
高速液体クロマトグラフ質量分析計賃借契約	九州沖縄農業研究センター所長 井邊時雄 (熊本県合志市須屋2421)	平成22年12月22日	日立キャピタル(株)熊本支店 (熊本県熊本市水前寺1-20-22)		—	999,054	—	0	再リース契約のため、左記相手方と契約を行う以外にないため	19	
卓上顕微鏡	果樹研究所カンキツ研究興津拠点研究管理監 駒崎進吉 (静岡県静岡市清水区興津中町485-6)	平成22年12月24日	オザワ科学(株)静岡営業所 (静岡県静岡市駿河区宮竹1-13-19)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	5,407,500	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	
卓上式多検体細胞破碎装置	動物衛生研究所長 濱岡隆文 (茨城県つくば市観音台3-1-5)	平成22年12月28日	東和科学(株) (東京都千代田区九段北1-6-2)	会計規程第38条第4号及び契約事務実施規則第27条第2項	—	2,362,500	—	0	競争入札に付したが落札せず、再度の入札を行っても落札者がなかったため。	16	

〔記載要領〕

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成22年度に締結した契約のうち、平成23年度以降も競争性のない随意契約とならざるを得ないものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「随意契約によらざるを得ない事由」欄は、可能な限り具体的に記載する。「随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分」欄は、別添の「随意契約事由別 類型早見表」の類型区分(1～12)の番号を記載する。その他以下に該当する番号を記載する。
 - ・緊急の必要により競争に付することができない場合「13」
 - ・競争に付することが不利と認められる場合「14」
 - ・秘密の保持が必要とされている場合「15」
 - ・競争に付しても入札者がいないとき、又は再度の入札をしても落札者がいない場合「16」
 - ・特例政令に相当する規定に該当する場合「17」
 - ・国において定める随意契約の限度額を超える契約で、法人の定める限度額を下回る契約については「18」
 - ・その他、類型区分に分類できないものについては「19」

随意契約事由別 類型早見表

随 意 契 約 事 由	類型区分
◀競争性のない随意契約によらざるを得ない場合▶	
イ 契約の相手方が法令等の規定により明確に特定されるもの	
(イ)法令の規定により契約の相手方が一に定められているもの	1
(ロ)条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの	2
(ハ)閣議決定による国家的プロジェクトにおいて、当該閣議決定により、その実施者が明示されているもの	3
(ニ)地方公共団体との取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの	4
ロ 当該場所で行わなければならない行政事務を行うことが不可能であることから場所が限定され、供給者が一に特定される賃貸借契約(当該契約に付随する契約を含む。)	5
ハ 官報、法律案、予算書又は決算書の印刷等	6
ニ その他	
(イ)防衛装備品であって、かつ、日本企業が外国政府及び製造元である外国企業からライセンス生産を認められている場合における当該防衛装備品及び役務の調達等	7
(ロ)電気、ガス若しくは水又は電話に係る役務について、供給又は提供を受けるもの(提供を行うことが可能な業者が一の場合に限る。)	8
(ハ)郵便に関する料金(信書に係るものであって料金を後納するもの。)	9
(ニ)再販売価格が維持されている場合及び供給元が一の場合における出版元等からの書籍の購入	10
(ホ)美術館等における美術品及び工芸品等の購入	11
(ヘ)行政目的を達成するために不可欠な特定の情報について当該情報を提供することが可能な者から提供を受けるもの	12

〔記載要領〕

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成22年度に締結した契約のうち、平成23年度以降も競争性のない随意契約とならざるを得ないものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達の適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「随意契約によらざるを得ない事由」欄は、可能な限り具体的に記載する。「随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分」欄は、別添の「随意契約事由別 類型早見表」の類型区分(1～12)の番号を記載する。その他以下に該当する番号を記載する。
 - ・緊急の必要により競争に付することができない場合「13」
 - ・競争に付することが不利と認められる場合「14」
 - ・秘密の保持が必要とされている場合「15」
 - ・競争に付しても入札者がいないとき、又は再度の入札をしても落札者がいない場合「16」
 - ・特例政令に相当する規定に該当する場合「17」
 - ・国において定める随意契約の限度額を超える契約で、法人の定める限度額を下回る契約については「18」
 - ・その他、類型区分に分類できないものについては「19」